

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 【新】Uターン就活応援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3292)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,696 千円 (前年度予算額：0 千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	11,696	0	0	0	0	0	0	0	11,696
決定額	11,300	11,300	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

コロナ禍を受けて、就職活動の早期化、短期化が進んでおり、大学4年生時の6月には7割近くの就活生が内々定を獲得し、3割の学生が全く内々定が無い状況にある。その一方で、夏以降の大学キャリアセンターは3年生の利用者が増え、また、企業説明会の開催数も減少するため、不安や孤独を抱える未内定学生もおり、支援を必要としている。

岐阜県出身大学進学者の約8割が県外の大学に進学しており、愛知県内の大学進学者が5割近くいることから、WEBの活用、利便性の高い名古屋を会場としたイベントの開催、大学キャリアセンターやジンチャレ!との連携により、未内定者へのアウトリーチ、採用意欲のある県内企業との出会いの場の創出、就職相談等、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援を行う。

(2) 事業内容

- ①未内定学生を対象とした就活リスタートセミナー、合同企業説明会の開催
就活戦略見直しセミナー、採用意欲のある企業が参加する就職に直結した合同企業説明会を開催する。
- ②就活支援常設サイトと連携した、Uターン就職情報特設サイトの整備
400社の県内企業情報が掲載された就活支援常設サイトと連携し、未内定者を対象に、就職活動スケジュールの立て直しや志望業界の見直しアドバイス、未内定者向けの就活イベント情報、ジンチャレ!のカウンセリング支援の紹介等を掲載する特設サイトを整備し、県内企業への就職を促す。
- ③SNSを活用し、WEBによる情報発信を強化
SNSのターゲティング配信等を活用し、未内定者へのアウトリーチを行い、採用意欲のある県内企業の紹介、イベント情報、就活サポート情報等を提供するとともに、就活支援常設サイトへ誘導する。

(3) 県負担・補助率の考え方
全額県負担

(4) 類似事業の有無
有 Uターンプレ就活応援事業（大学1～3年生向け）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	11,563	Uターン就活応援事業委託料
旅費	133	業務旅費
合計	11,696	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します
財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】

Ⅲ. 具体的な施策 1. ひとを育む (5) 地域経済を支える人材の育成・確保

【岐阜県成長・雇用戦略2017】

2 各重要プロジェクト

[1] 産業人材確保対策プロジェクト

(2) 国・他県の状況

43道府県がUターン対策として就職相談会や企業説明会等を開催している。

(3) 後年度の財政負担

学生を取り巻く就活環境に応じて事業内容を見直しながら継続的に実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

Uターン施策の観点から、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

協定締結大学、愛知県内の岐阜県出身学生が多く在籍する大学等と連携し、県外に進学した若者の岐阜県への呼び戻しを促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①Uターン率	31.0%	31.0%	35.0%	39.0%	50.0%	62.0%

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>コロナ禍を受けて、Uターン就職への関心が高まる中、就職活動中の県出身学生等に対して、企業情報、就活情報を提供していく必要性は高く、あわせて、県内企業で働く魅力を発信することで、県外学生の呼び戻しを図る。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	/
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	/

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県出身大学生が多く在籍する大学との連携を強化し、積極的かつ効果的に就職活動を継続している県出身学生へのアウトリーチを行い、県内企業への就職に向けたフォローを行う必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 若者の県外流出を食い止め県内企業への人材確保を推進するために、今後も積極的にUターン就職を促進する施策を展開していく必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
